

教科名 国語	学年 2年	担当者 滝沢 李沙	使用教材 「国語2」、「中学書写一二三年」(光村図書) 副教材 漢字ノート、国語便覧など
-----------	----------	--------------	--

教科の目指す生徒像

- ・国語を適切に表現し正確に理解する能力を有する生徒。
- ・伝え合う力、思考力および想像力を有し、言語感覚が豊かな生徒。

学習到達目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉が持つ力を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする力を育てる。

主な学習内容

教科書を中心に様々な作品を通じて、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力」の育成を図る。

授業の進め方

授業では、学習の目標を確認し、その目標が達成できるようにする。提示された課題に取り組み、思考力・判断力・表現力を育む。その取り組みの成果を仲間と共有し、授業担当者がアドバイスや評価をする。これにより自分の学習を振り返り、理解や知識を定着させ、次の学習へと繋げるものとする。

観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。
定期テスト、漢字テスト、文法テスト、作文、発表活動、ノート・プリントの記述、発表の内容など。		

※ 評価については、内容について基準を設けて判断します。

観点別評価 総括基準 (沼間中学校の基準通り)

A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満

評定への総括：神奈川県的方式に従う

教材について

教科書、国語便覧、漢字ノート、積み上げプリント等使用します。

学習上の留意点

- ・授業で使うものは必ず授業前に準備し、チャイムが鳴り終わると同時に始められるようにすること。
- ・国語係は必ず授業日の前日中に持ち物を聞きに来ること。
- ・他者の意見を聞き、自分の意見を自分の言葉で発信できるように、力を磨いていくこと。
- ・かるた大会に向けて、前期中に練習をしておくこと。

年間計画 2024 (令和6)年度 第2学年 教科：国語

学期	月	単元名	主な学習活動
前期	4	登場人物の設定や言動の意味を読み取る	授業開き
	5	古文を味わい、考えたことを表現する	見えないだけ
	6	報告分を読む	アイスプラネット
	7	単語や漢字を活用する/調和した字を書く	枕草子
	8	く	多様な方法で情報を集めよう
	9	短歌を味わう	クマゼミ増加の原因を探る
	10	プレゼンテーションをする	単語をどう分ける/熟語の構成/書写
		二つ以上のメディアを比べる	短歌に親しむ/短歌を味わう
		読み比べて考える	魅力的な提案をしよう
		人物描写・場面描写から読み取る	メディアを比べよう
暑中見舞いを書く		翻訳作品を読み比べよう/「わからない」は人生の	
後期	10	論説の内容を解釈する	モアイは語る
	11	詩を比較する	月夜の浜辺/木
	12	古典の世界に親しむ	平家物語
	1	古典に表れたものの見方・考え方を知る	仁和寺にある法師
	2	漢詩の世界を楽しむ	漢詩の風景
	3	鑑賞文を書く	魅力を効果的に伝えよう
		文章全体と部分との関係に注意し、読む	君は「最後の晚餐」を知っているか
		自分の考えを広げる	研究の現場によろこそ
		登場人物の言動の意味を考える	走れメロス
		技法を使って文を作る	構成や展開を工夫して書こう
自分の考えを深める	言葉の力		
助詞や助動詞などの働きを理解する	国語の学びを振り返ろう		
			付属語

※進度によって予定が前後する可能性があります。

教科名 社会科	学年 2年	担当者 前田 将 磯崎 太朗 飯塚 秀樹	使用教材 帝国書院「中学生の歴史」 「中学生の地理」 「中学校社会科地図」 創育・吉野教育図書「地理 基本用語集」 「歴史 基本用語集」 浜島書店「学び考える歴史」
------------	----------	-------------------------------	--

教科の目指す生徒像

- ・歴史・地理の学習を通じて、社会に対して興味を持ち、学習することができる。
- ・自ら考え、表現することができる。
- ・社会的事象について自ら考えることができる。

学習到達目標

- ・社会的な知識や技能を身に着けるとともに、社会的事象を理解することができる。
- ・原因や結果、内容などを仲間との意見交換なども含め多面的・多角的に理解し、社会的事象についての自分の考えを持ち、言葉で表現することができる。
- ・日々の学習の中で、さらに知りたい、学習を深めたいという気持ちのもと、自らを調整して継続的に学ぶことができる。

主な学習内容

- ・主にプリントを用いて、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力」の育成を図る。

授業の進め方

- ・地理・歴史ともにプリントを用いた授業を行う。
- ・クロームブック等を用いて、資料を活用したり、自ら調べ学習する。
- ・仲間との話し合いや、意見を交流し多面的・多角的に考える。

観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会的事象について、理解することができるか。	社会的事象に関して、「なぜ」を大切にし、考え、言葉で表現することができるか。	学習内容を分かりやすくまとめたり、さらに深く自ら調べたりしている。仲間との活動の中で、さらに学習を深めようとしている。
定期試験・小テスト、レポート等	定期試験・小テスト、レポート等	小テスト、レポート等

観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り）

A° 90%以上    A 80%以上    B 50%以上    C° 25%以上    C 25%未満

評定への総括：神奈川県のやり方に従う

教材について

- ・1年次に使用した地歴の教科書、歴史の資料集、地図帳、地歴の用語集を使用する

課題・提出物等について

- ・授業時内での課題、レポート等
- ・ロイロノート等データを使用して取り組む。

長期休業中の課題について

- ・予定なし

年間計画 2024（令和6）年度 第2学年 教科：社会

学期	月	単元名	主な学習活動	
前期		大航海によって結び付く世界	海外との交流を軸に、分裂していた日本国内を誰がどのようにしてまとめていったのかを理解する。海外との交流がどのような成果をもたらしたのか理解する。	
	4	戦乱から全国の統一へ 武士による全国支配の完成	江戸幕府の基礎を知り、どのような工夫が凝らされ組織化されているか理解する。	
	5			
	6			
	7	天下泰平の世の中・社会変化と幕府の対策	江戸時時代の生活・文化などを理解する。	
	8			
	9			
	後期		地域的特色（地理）	日本を大観し、地形・自然環境・産業について学習し、のちの地方学習を学ぶためのベースを築く。
			日本の諸地域	
10		日本の諸地域（地理） ・九州（地理） ・中国四国地方 ・近畿地方 ・中部地方 ・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方	七つに地域区分された日本の諸地域において、設定した視点を中核とした考察を通して、諸地域の地域的特色を捉える。  七つに地域区分された日本の諸地域において、設定した視点を中核とした考察を通して、諸地域の地域的特色を捉える。	
11				
12				
1		近代国家の歩みと国際社会（歴史）	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸幕府がどのようにして滅びていったのか、海外との関係、各地域との関係を多面的に理解する。</li> <li>明治時代になり、江戸時代と比べ国の体制・国民の生活にどのような変化があったかを理解する。</li> <li>日本と海外との関係性、なぜ他国と戦争をするのか時代の流れを理解する。</li> </ul>	
2				
3				

※進度によって予定が前後する可能性があります。

教科名 数学	学年 2 学年	担当者 清水 理紗・山田 智昭 竹内義昭	啓林館「未来へひろがる数学 2」 問題集：OKRA バラプリント
-----------	------------	----------------------------	--

教科の目指す生徒像

数学的活動を通して、積極的に他者と関わり、数学的に考察し、問題解決をしようとする生徒。

学習到達目標

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見出し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的な活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

主な学習内容

1 章：式の計算 2 章：連立方程式 3 章：一次関数 4 章：図形の調べ方 5 章：図形の性質と証明  
6 章：場合の数と確率 7 章：箱ひげ図とデータの活用

授業の進め方

授業ではできるだけ教科書にそって進めていきます。基礎・基本が定着するよう、問題演習を多く取り入れていきます。また、生徒自らが考え問題解決していく内容も交えながら、数学的に説明し伝え合う場も設定していきます。

観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。</li> <li>・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見出し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的な活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。</li> </ul>
定期テスト、単元テスト、授業中のワークおよび小テストなど	定期テスト、単元テスト、授業中のワークおよび小テストなど	定期テスト、単元テスト、授業中のワークおよび小テストなど

観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り）

A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満

評定への総括：神奈川県的方式に従う

- ◆定期テストの範囲について：これまでに行った学習の理解度をはかるため、万遍なく出題していきます。
- ◆学習上の留意点：数学は積み重ねが重要となる教科です。毎授業の内容を、その日のうちに復習して次の授業に臨んでください。

【年間計画】

学期	月	単元名	主な活動	
前期	4	<b>ガイダンス</b>	・学習のねらいと評価方法について確認する。	
	5	<b>1章 式の計算</b> 1節 式の計算 ①式の加法、減法 ②いろいろな多項式の計算 ③単項式の乗法除法	・文字式の四則演算をできるようにする。 ・目的に応じて、式を変形する。 ・文字式で数量およびその関係をとらえ説明できることを理解し、根拠を明らかにして筋道を立てて説明し合う。	
		6		2節 文字式の利用 ①文字式の利用
	7	<b>2章 連立方程式</b> 1節 連立方程式 ①連立方程式とその解 ②連立方程式の解き方 2節 連立方程式の利用 ①連立方程式の利用	・二元一次方程式とその解の意味を理解する。 ・連立方程式の必要性と意味およびその解の意味を理解し、計算できるようにする。 ・連立方程式を具体的な場面で活用する。	
		8		<b>3章 一次関数</b> 1節 一次関数とグラフ ①一次関数 ②一次関数の値の変化 ③一次関数のグラフ ④一次関数の式を求めること
	9	2節 一次関数と方程式 ①方程式とグラフ	・事象の中には一次関数としてとらえられるものがあることや、それを表・式・グラフを相互に関連付けられることを知る。また、二元一次方程式が一次関数であることを知る。 ・一次関数を用いて具体的な場面で活用する。	
	10	②連立方程式とグラフ		
	11	3節 一次関数の利用 ①一次関数の利用		
	後期	12	<b>4章 図形の調べ方</b> 1節 平行と合同 ①角と平行線 ②多角形の角 ③三角形の合同 2節 証明 ①証明とそのしくみ ②証明の進め方	・平行線や角の性質を理解し、それに基づいて図形の性質を確かめ説明できるようにする。 ・多角形の角についての性質を見いだせることを知る。 ・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解する。 ・証明の必要性とその意味およびその方法について理解する。
			<b>5章 図形の性質と証明</b> 1節 三角形 ①二等辺三角形 ②直角三角形の合同 2節 四角形 ①平行四辺形の性質 ②平行四辺形になる条件 ③いろいろな四角形 ④平行線と面積	
1		⑤四角形の性質の利用	・三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、図形の性質の証明を読んで新たな性質を見出したりする。 ・正方形・ひし形・長方形が平行四辺形の特別な形であることを知る。	
2		<b>6章 場合の数と確率</b> 1節 場合の数と確率 ①確率の求め方 ②いろいろな確率 ③確率の利用		
3		<b>7章 箱ひげ図とデータの活用</b> 1節 箱ひげ図 ①箱ひげ図 ②データを活用して、問題を解決しよう		

※進度によって予定が前後する可能性があります。

教科名 理科	学年 2 学年	担当者 市川・高橋雅・矢内	使用教材 ・教科書 大日本図書「理科の世界②」 ・副教材 明治図書「よくわかる理科の学習 2」 ・資料集 逗子市教育研究総合センター 「逗子の自然」
-----------	------------	------------------	--

#### 教科の目指す生徒像

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている生徒。
- ・観察、実験などを行い、理科の見方や考え方を働かせて結果を分析、解釈し、科学的に探究できる生徒。
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする生徒。

#### 学習到達目標

- (1) 解決すべき課題や問題について、観察・実験を計画、実行し、結果の整理、考察を行う一連の探究過程の見通しを持ち学習を行うことができる。また、その観察や実験をするための基本的な技能を身につける。
- (2) 観察や実験によって得られた結果を理科の見方、考え方をもちて分析、解釈し、表やグラフ、図などを効果的に用いながら表現できるようにする。その際、他者の考えとの有の中で、自らの考えを調整できるようになる。
- (3) 日常生活や社会において科学がどのように役立っているかを感じたり考えたりできるようなる。これを生かし、日常生活における問題を見いだして、科学的に探究、解決する態度を身に付ける。

#### 主な学習内容

物理分野：電流とその利用

生物分野：生物の体のつくりとはたらき

化学分野：化学変化と原子・分子

地学分野：気象のしくみと天気の変化

#### 授業の進め方

自然の事物・現象に関する問題や課題を見いだし、それを解決する観察や実験を立案、計画し、実践する。観察や実験を通して得られた結果を分析、解釈し、それをグラフや図などを利用してしながら他者へ表現する。この一連の科学的に探究過程を通して、自然の事物・現象について理解を深めていく。各単元の最後には、自らの学びを振り返り、学んだことを日常生活につなげたり、問題を見いだしたりする中で、次の学習へとつなげていく。

#### 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもつて観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもつたり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

定期試験、単元テストや小テスト、課題レポート、授業プリント、発表等

#### 観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り）

A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満

評定への総括：神奈川県やり方に従う

#### 教材について

基本的には教科書の流れにそって進めていきます。自ら進んで学んでいく上で、教科書は重要な情報源となります。毎回の授業で必要になりますので、大切に使いましょう。また、得た知識を活用したり復習したりするために副教材の問題集があります。授業中だけでなく、家庭での学習にも利用してください。

#### 学習上の留意点

各自がその授業の「めあて」を意識して、それをクリアするように進んで自ら学んでいくことが大切です。特に観察や実験では、「なぜその観察、実験をするのか」、という目的や着目点を意識して取り組みましょう。

授業では他者と意見を交わしながら進めていくことが多くなります。自ら進んで学び、考えをしっかりと持つことを通して、他者との意見交流を通しながら、理解を深めていきましょう。

理科では4つの分野の間、そして各学年での学習内容の間につながりがあります。これまでに生活や学習で身に付けた知識を、次に学習する内容に関連付け、次の新しい気づきにつなげていきましょう。

年間計画 2024（令和6）年度 第2学年 教科：理科

学期	月	単元名	主な学習活動
前期	4 5 6	○化学変化と分子・原子 (1) 物質の成り立ち (2) いろいろな化学変化 (3) 化学変化と熱の出入り (4) 化学変化と物質の質量	・化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、物質の成り立ち及び化学変化、化学変化と物質の質量のことを理解し、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。
	7 9 10	○生物の体のつくりとはたらき (1) 生物をつくる細胞 (2) 植物の体のつくりとはたらき (3) 動物の体のつくりとはたらき	・生物のつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞、植物や動物の体のつくりとはたらきの事を理解し、それらの観察、実験等に関する技能を身に付ける。
後期	11 12 1	○電流とその利用 (1) 電流と回路 (2) 電流と磁界 (3) 電流の正体	・電流、磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら、電流、電流と磁界を理解し、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。
	2 3	○気象のしくみと天気の変化 (1) 気象観測 (2) 気圧と風 (3) 天気の変化 (4) 日本の気象	・身近な気象の観察、実験などを通して、気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、天気の変化や日本の気象について理解し、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。

※進度によって予定が前後する可能性があります。

教科名 音楽	学年 2年	担当者 松井ゆかり	使用教材 中学生の音楽2, 3年上下 中学生の器楽、アルトリコーダー
-----------	----------	--------------	--

### 教科の目指す生徒像

音楽を楽しみ、音楽によって生活を明るく豊かなものにすることのできる生徒。音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身につけ、創意工夫して表現することのできる生徒。多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞することのできる生徒。

### 学習到達目標

1. 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
2. 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
3. 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

### 主な学習内容

- ・表現：歌唱〔発声、合唱「翼をください」など〕・器楽〔アルトリコーダー奏〕・創作
- ・鑑賞：「交響曲第5番」、歌舞伎など

### 授業の進め方

授業は50分間の中で歌唱・器楽・鑑賞を組み合わせで行います。さまざまな活動を通して表現する力や音楽への興味・関心を高めていきたいと思えます。個々の課題に合わせ、個人や小グループでの練習も取り入れ、互いに認め合い、励まし合って声や音が出しやすい雰囲気づくりも大切にしています。

### 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。</li> <li>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul>
ワークシート 単元テスト、実技テスト	ワークシート 学びのプラン 単元テスト、実技テスト	学びのプラン ワークシート 活動観察

※ 評価については、内容について基準を設けて判断します。

観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り）

A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満

評定への総括：神奈川県的方式に従う

- ◆単元テストの範囲について 定期テストとしては実施せず、単元テストを行います。2単元学習を目途に出題範囲を区切り、事前に通知します。
- ◆課題・提出物等について 曲を鑑賞した際や単元が終わったときにワークシートやレポートを提出します。期限を守り、求められた内容を満たすよう努力しましょう。
- ◆学習上の留意点 リコーダーのお手入れに、薄い布（ハンカチやガーゼ生地が適）を準備してください。リコーダーの管内部についた水滴を拭くためのものです。傷用のガーゼはほつれるのでお勧めできません。またティッシュもリコーダー内部に詰まるので使いません。毎回の授業で忘れ物がないようにしましょう。

年間計画 令和6年度 第2学年 教科:音楽

学期	月	単元名	主な学習活動
前期	4	オリエンテーション 「翼をください」	音楽科の学習について見通しを持つ。 1年次に学んだ発声の技能を生かしながら混声3部合唱に取り組む。
	5	リコーダーアンサンブル	ペアで表現方法を工夫しながら、リコーダーによるアンサンブルを楽しむ。
	6	リズムアンサンブル 心の歌「夏の思い出」	少人数でリズムを合わせ、音の重なりや組み合わせなどによる変化や表現の広がりを工夫する。 情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌う。
	7	小フーガ ト短調	作曲家や時代背景について知り、パイプオルガンの響きの魅力を味わう。
	8		
	9		
	10	交響曲第5番	曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、オーケストラ演奏の魅力を感じ取る。
後期	11	歌舞伎「勧進帳」 文楽「新版歌祭分」	歌舞伎と文楽に親しみ、その魅力を評価しあう。
	12		
	1		
	2	創作	言葉の抑揚を生かした旋律を工夫する。
	3	合唱	混声3部合唱で響きを作り出す楽しみを感じ取る。 歌詞や曲想に合った歌唱表現を創意工夫して歌う。

※進捗の状況によって予定が前後したり、内容を変更する可能性があります。

・アルトリコーダーは通年で学習を続けます。

教科名 美術科	学年 2	担当者 高井 明	使用教材 教科書 1、2・3 副教材：材料、資料集
------------	---------	-------------	------------------------------

教科の目指す生徒像

- ・ 楽しく美術の活動に主体的に取り組み、他者の様々な表現を受け入れ発展させることができる生徒。
- ・ 生活や社会の中の美術や美術文化に興味・関心をもち、積極的に関わっていく意欲のある生徒。

学習到達目標

- (知)・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (思)・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (学)・主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

主な学習内容

絵文字（平面）、ポスター（平面デザイン）、ボックスアート（立体）、和菓子づくり（工芸）、表現活動の参考作品や生徒作品の鑑賞

授業の進め方（授業準備：準備は開始前に行い、忘れ物があるときは開始前に先生に相談する）

- ・ 初めに授業の「本時の目標」と「本時の内容」を確認し、自分の目標や計画を立ててから制作活動を開始します。
- ・ 制作活動中も、他者の良さを吸収し、創意工夫を重ねていきましょう。
- ・ 片付は終わり 10 分前に開始し、道具や制作途中作品を大切に扱い計画的に制作する習慣を身につけよう。

観点別評価

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。</li> <li>・ 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。</li> </ul>	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
アイデアスケッチ、作品、小テスト、定期試験	アイデアスケッチ、作品、鑑賞文、小テスト、定期試験	授業への取り組み、プリントや作品への取り組み、アイデアスケッチ、作品、鑑賞文

観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り）

A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満

評定への総括：神奈川県 のやり方に従う

定期試験について

- ・ 今年度は、一回のみ定期試験は実施。その他題材ごとに必要に応じて、題材内容についての知識や自身の作品について記述する、小テスト等を実施します。

課題・提出物等について

- ・ 内容の必要条件と、期限を守ることが大切です。（欠席者にはできるかぎり補習で対応。）
- ・ 定期的にファイル提出を行います。ファイルに配布プリントがきちんととじられており、記入もれがないことをチェックします。

学習上の留意点

- ・ 身の回りにある美術的なものや作品に関心をもち生活しよう。
- ・ 他者の作品や参考作品、助言を参考に創作活動をしよう。

教材について

- ・ ポスターカラー（絵の具）・資料集・ファイル・教科書・筆記用具・鉛筆 1 本（HB～2B）

※その他、授業によって必要な道具はお知らせします。

## 年間計画 令和6年度 第2学年 美術科

学期	月	単元名	主な学習内容
前期	4	オリエンテーション	・年間の学習予定や次時の内容、授業のルール、評価の観点などの確認をする。
	4 ～ 5	木彫スプーンづくり（工芸）	・木工を中心とした工芸や生活で使える美術に興味・関心を持ち、「使いやすいオリジナルデザインの木彫スプーン」をデザインし制作する。
	6 ～ 7	レタリング・絵文字（平面）	・他者に伝えるためのデザインに興味・関心を持ち、見やすい文字のデザイン（レタリング）を学ぶ。 ・レタリングから発展させ、全体のバランスを考え、「漢字一文字を使った絵文字」を制作する。
	9 ～ 10	ボックスアート（立体）	・箱という限られた空間に立体的に構成を考え、独自の世界感を表現する。 ・自分で用意した素材を作品に生かし、異素材を組み合わせ、てまとまりのある作品を制作する。
後期	10 ～ 12	ボックスアート（続き）	
	1 ～ 3	デッサン（平面）・水墨画	・デッサンの基本である、「ものを観察する」ことを意識し、デッサンについて学ぶ。 ・日本の美術文化に関心を持ち、水墨画の表現技法を学び、技法や墨の特性を生かし、自らの思いを主体的に表現する。

※進度によって予定が前後する可能性があります。

教科名 保健体育	学年 2 学年	担当者 松居 佳祐	使用教材 東京書籍 新しい保健体育 東京書籍 ビジュアル
-------------	------------	--------------	------------------------------------

#### 教科の目指す生徒像

心と体を一体としてとらえ運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、積極的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図ることのできる生徒。

#### 学習到達目標

- (1) 運動の合理的な実践を通して運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。
- (2) 運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

主な学習内容 ・体づくり運動 ・陸上競技 ・器械運動 ・水泳 ・ダンス ・ソフトボール  
・ハンドボール ・バスケットボール ・柔道 ・バレーボール

#### 授業の進め方

- ・適切な運動を行わせ、種目に合った体操・補強運動・ストレッチを班で考察・実行し、心身の調和的発達を図ります。
- ・挨拶後、班長は点呼をして担当教諭に報告する。
- ・授業はじめに説明する本日のねらいをよく聞き、仲間と協力しながら技能を高めていけるようにする。
- ・学習カードの振り返りを忘れずに書くようにする。

#### 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特製に応じた基本的な技能を身につけている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに基本的な技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に施行し判断しているとともに、それを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の運動の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。
学習カード・小テスト・技能試験	学習カード・小テスト・観察	学習カード・小テスト・観察

#### 観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り）

A° 90%以上    A 80%以上    B 50%以上    C° 25%以上    C 25%未満

評定への総括：神奈川県的方式に従う

- ◆テストについて：授業の進捗度を考慮し範囲を設定します。単元ごとに小テストがあります。
- ◆課題・提出物等について：保健分野では、授業内で課題を提出してもらうことがあります。体育分野では、授業後に学習カードを提出します。
- ◆学習上の留意点：教科の特性上、グラウンド、体育館での活動が中心となります。服装など忘れ物がないようにしましょう。また、それぞれに記名をしっかりと行って下さい。授業によって変わりますが、必要なものはあらかじめ連絡します。基本的に（ビジュアル<実技本>、学習カード、赤ファイル、筆記用具）は必ず持ってくるようにする

年間計画 2024（令和6）年度 第2学年 保健体育科

学期	月	単元名	主な学習活動
前期	4	新体力テスト 集団行動 体づくり運動	○授業オリエンテーション (体) 体ほぐし（新体力テスト含む）や体力の意義と運動効果について勉強します。
	5	保健(2) 陸上競技 体育理論(2)	(保) 傷害の防止 (陸) 走り幅跳び・走高跳・ハードル走の種目選択を行います。 (体理) 運動やスポーツの効果・学び方
	5	体づくり運動 (体育祭)	(体) 運動が得意な人でも苦手な人でも楽しめる体育祭を今年度から作っていています。
	6	保健(2) 器械運動	(保) 傷害の防止 (器) マット運動を行い、技の連続性や構成を見ます。
	7	水泳	(水) クロール・平泳ぎの泳法について基本的動作を確認し、フォーム、タイムを計測します。
	8 9	現代的なリズムのダンス 創作ダンス 保健(3)	(ダ) 体育祭に向けて、創作ダンスや現代的なリズムのダンスを行います。(多様なテーマから表したいイメージを捉える) (保) 傷害の防止
後期	10	ソフトボール	(ソ) 身体やバットの操作と走塁での攻撃を学びます。 (陸) バトンの受け渡しでタイミングを合わせチームのタイムを短縮したり競争したりする
	11 12	保健(3) 柔道 ハンドボール	(保) 心身の機能の発達と心の健康 (柔) 日本の伝統的なスポーツを礼法から基本動作を学習します。 (ハ) ドリブルやパスの正確性、攻撃を重視した仲間との連携を見ます。
	1	バスケットボール 保健(3)	(バ) ドリブルやパスの正確性、攻撃を重視した仲間との連携を見ます。 (保) 健康な生活と病気の予防
	2	体育理論(1) 保健(3) バレーボール	(体) 運動やスポーツの安全な行い方 (保) 健康な生活と病気の予防 (バ) ボールの操作と定位置に戻るなどの動きによって、空いた場所をめぐる攻防を学びます。
	3	バレーボール	(バ) ドリブルやパスの正確性、攻撃を重視した仲間との連携を見ます。

※保健・・・計16時間 体育理論3時間

※進捗や感染症の状況によって予定が前後する可能性があります。

教科名 技術・家庭科	学年 2 学年	担当者 嘉山 英明	使用教材 家庭科学習ノート 製作に必要な材料
---------------	------------	--------------	------------------------------

### 教科の目指す生徒像

一人ひとりが持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことを目指していく。

### 学習到達目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通じて、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

### 主な学習内容

(指導計画参照)

### 授業の進め方

### 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギーの変換や伝達などに関わる基礎的な技術の仕組みの理解</li> <li>安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができる技能</li> <li>生活や社会に果たす役割や影響に基づいたエネルギー変換の技術の概念の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取る力</li> <li>エネルギー変換の技術の見方・考え方の気付き</li> <li>エネルギー変換の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し解決できる力</li> <li>よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んでエネルギー変換の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとする態度</li> <li>自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとする態度</li> <li>自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとする態度</li> <li>よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造していこうとする態度</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>作物、動物及び水産物の成長、生態についての科学的な原理・法則の理解</li> <li>生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みの理解</li> <li>安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができる技能</li> <li>生活や社会に果たす役割や影響に基づいた生物育成の技術の概念の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物育成の技術に込められた工夫を読み取る力</li> <li>生物育成の技術の見方・考え方の気付き</li> <li>生物育成の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し解決できる力</li> <li>よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとする態度</li> <li>自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとする態度</li> <li>自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとする態度</li> <li>よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造していこうとする態度</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>食事の役割と中学生の栄養の特徴についての基礎的な理解</li> <li>中学生に必要な栄養を満たす食事についての基礎的な理解</li> <li>日常食の調理と地域の食文化についての基礎的な理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族・家庭や地域における生活の中から食生活について問題を見だし、課題をもって考え、解決する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度</li> <li>家庭生活を支える一員として生活をよりよくしようとする態度</li> <li>地域の人々と関わり、協働しようとする態度</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>金銭の管理と購入についての基礎的な理解と技能</li> <li>消費者の権利と責任についての基礎的な理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族・家庭や地域における生活の中から消費生活・環境について問題を見だし、課題をもって考え、解決する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度</li> </ul>

※ 評価については、内容について基準を設けて判断します。

※ 実験レポートなどは、観点別に採点します。

観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り）

A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満

評定への総括：神奈川県的方式に従う

#### ◆課題・提出物等について

なるべく授業内で完結するものにする。

#### ◆夏期休業中の課題について

学習状況により判断する

#### ◆学習上の留意点

けがをしない、させないような指導を徹底する

支援が必要な生徒には適宜声掛けをする

学期	月	技術分野	家庭分野
前	4	<b>B 生物育成の技術</b> (1) 生活や社会を支える生物育成の技術 ア 生物の成長などの原理・法則と基礎的な技術の仕組み イ 技術に込められた問題解決の工夫	<b>B 衣食住の生活</b> (1) 食事の役割と中学生の栄養の特徴 ア (ア) 食事が果たす役割 (イ) 中学生の栄養の特徴, 健康によい食習慣 イ 健康によい食習慣の工夫
	5	(3) 社会の発展と生物育成 ア 生活や社会、環境との関わりを踏まえた技術の概念 イ 技術の評価、選択と管理・運用、改良と応用	(2) 中学生に必要な栄養を満たす食事 ア (ア) 栄養素の種類と働き, 食品の栄養的特質 (イ) 中学生の1日に必要な食品の種類と概量, 献立作成の方法 イ 中学生の1日分の献立の工夫
	6		
	7		
	9	<b>C エネルギー変換に関する技術</b> (1) 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 ア 電気、運動、熱の特性等の原理・法則と基礎的な技術の仕組み イ 技術に込められた問題解決の工夫	(3) 日常食の調理と地域の食文化 ア (ア) 用途に応じた食品の選択 (イ) 食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理 (ウ) 材料に適した加熱調理の仕方, 基礎的な日常食の調理 (エ) 地域の食文化, 地域の食材を用いた和食の調理 イ 日常の1食分のための食品の選択と調理計画及び調理の工夫
	10		
	11		
	12	(2) エネルギー変換の技術による問題の解決 ア 安全・適切な製作, 実装, 点検, 調整など イ 問題の発見と課題の設定, 電気回路や力学的な機構などの構想と設計の具体化, 製作の過程や結果の評価, 改善及び修正	<b>C 消費生活・環境</b> (1) 金銭の管理と購入 ア (ア) 購入方法や支払い方法の特徴, 計画的な金銭管理 (イ) 売買契約の仕組み, 消費者被害, 物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理 イ 情報を活用した物資・サービスの購入の工夫
	1		(2) 消費者の権利と責任 ア 消費者の基本的な権利と責任, 消費生活が環境や社会に及ぼす影響 イ 自立した消費者としての消費行動の工夫
2	(3) 社会の発展とエネルギー変換の技術 ア 生活や社会, 環境との関わりを踏まえた技術の概念 イ 技術の評価, 選択と管理・運用, 改良と応用	(3) 消費生活・環境についての課題と実践 ア 環境に配慮した消費生活についての課題と計画, 実践, 評価	
3			
後			

※進度によって予定が前後する可能性があります。

教科名  英語	学年  2年	担当者 西脇 絵美 原 真美 平元 遼一	使用教材 教科書 NEW CROWN2 エイゴラボ2
---------------	--------------	-------------------------------	----------------------------------

教科の目指す生徒像

積極的に他者と関わり、お互いを理解し認め合うことで、相互の成長につなげていくことができる生徒

学習到達目標

- 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考え方などを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成したりすることを目指す。
- ・聞くこと：身近なことがらや日常的な話題の説明などを聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。
  - ・話すこと：自分の予定や思い出について、即興で伝え合うことができる。  
身近な話題について、自分で作成したメモを見ながら簡単なディスカッションができる。
  - ・読むこと：簡単なコラムを読んで大まかな内容を読み取ったり、短い物語のあらすじをつかんだりすることができる。
  - ・書くこと：事実や自分の考えを整理して、エッセイやカードを書くことができる。

主な学習内容

接続詞(when/if/that) 不定詞(名詞用法、副詞用法、形容詞用法)、There is/are～、動名詞、動詞(give など)+A+B、助動詞(must、have to、may)、比較(比較級、最上級、同等比較)、現在完了形(継続用法、完了用法、経験用法)

授業の進め方

- ・週4回の授業のうち、3回は学級で授業を行い、1回は学年全体で授業を行います。
- ・授業の初めには、英語の歌の紹介とスラスラ Challenge(英会話練習)を行います。
- ・単元学習の最後には、まとめとして表現活動と、学習到達度を把握するための単元テストを行います。
- ・ノート作りやエイゴラボ2、は予習・復習として家庭で積極的に取り組みましょう。
- ・週に2～3回、IEA(国際教育指導助手)の先生と授業をし、生きた英語に触れ、使う機会をもちます。

観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝え合ったりする技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話したり書いたりして表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
単元テスト 各種表現活動 定期試験 等	単元テスト 各種表現活動 定期試験 等	まなびのプランなどの提出物 各種表現活動 等

観点別評価 総括基準(沼間中学校の基準通り)

A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満

評定への総括：神奈川県やり方に従う

◆授業を受ける上での心構え

- ・授業には、教科書、ノート、ファイル、エイゴラボ2、Chromebookが必要です。
- ・ペアワークやグループワークでは、ペアやグループの仲間と意欲的にコミュニケーションをとりながら取り組みましょう。
- ・気づいたことを質問したり、挙手して発言したりなど、間違いを恐れず積極的に取り組みましょう。
- ・英単語や英文法はノートを用いて練習したり、ワークを用いて復習したりなど、自ら学習を進め身に付けていきましょう。英語を学びながら疑問に思ったことを調べまとめるのも効果的です。

◆長期休業中の課題について

- ・既習内容単語や文法の課題を出します。休み明けにテストを行います。

◆授業サポート

- ・学習相談はいつでもお受けします。授業の前後はもちろんのこと、補習対応もします。

年間計画 2024（令和6）年度 第2学年 英語科

学期	月	単元名	主な学習活動
前期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>Lesson1 Peter Rabbit</li> <li>Listen1 図書館の案内</li> <li>Talk1</li> <li>Get Plus 1</li> </ul>	接続詞 when, if, that を理解し、使う。 聞き手が必要な情報を聞き取る。 質問をしたり情報を付け加えたりする。 許可を求める言い方を理解し、使う。
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>Lesson2 My Dream</li> <li>Project1</li> <li>Listen2 お知らせ</li> <li>Talk2 それはいい案だね</li> <li>Get Plus 2</li> <li>R for I 1</li> </ul>	不定詞を理解し、使う。 将来の夢や、将来したいことについてスピーチする。 話し手が伝えたいことを聞き取る。 意見を言ったり賛成したりする。 It~for to…の文を理解し、使う。 書いてある内容を理解し、質問に答える。
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>Lesson3</li> <li>Every Drop Counts</li> <li>Get Plus 3</li> </ul>	There is/are~.や動名詞を理解し、使う。 グループで話し合いをする。自分の町について即興で話す。 しなければならないこと、してはいけないことを説明する。
	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>Lesson4 Uluru</li> </ul>	動詞(give など)+A+Bを理解し、使う。 行ってみたい国についてエッセイを書く。
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>Listen3 空港のアクセス</li> <li>Talk3 何が起きたの？</li> <li>Get Plus 4</li> <li>R for I2</li> </ul>	聞き手が必要な情報を聞き取る。 つなぎ言葉を使ったり詳しい説明を求めたりする。 しなければならないこと、しなくてよいことを説明する。 メニューを読んで、相手に適切なものをすすめる。
後期	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>Reading for Fun 1</li> <li>Lesson5</li> <li>Things to Do in Japan</li> </ul>	とんち話を楽しむ。 形容詞・副詞の比較級・最上級を理解し、使う。 クラスで人気のあるものを調べてレポートを書く。
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>Listen4</li> <li>Talk4</li> <li>Get Plus 5</li> <li>R for I 3</li> <li>Project2</li> </ul>	話し手が伝えたいことを聞き取る。 誘ったり誘いに応じたり誘いを断ったりする。 疑問詞+to 不定詞 (how to) を理解し、使う。 公園の看板の内容を読み取り、質問に答える。 アンケート結果を理解し、修学旅行のプランを提案する。
	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>Lesson6 Tea from China</li> <li>Listen5</li> <li>Talk5</li> <li>Get Plus6</li> <li>R for I 4</li> </ul>	現在完了形（継続）を理解し、使う。 お礼の言葉と、お土産の説明をカードに書く。 話の全体的な内容を聞き取る。 申し出たり困っていることを伝えたりする。 丁寧な依頼のしかたを理解し、使う。 レシピを読んで、サラダを作るために必要なものを考える。
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>Lesson7</li> <li>Rakugo Goes Overseas</li> <li>Listen6</li> <li>Talk6</li> </ul>	現在完了形（完了結果・経験）を理解し、使う。 先生にインタビューし、メンバー募集のポスターを作る。 話し手が伝えたいことを聞き取る。 意見を言ったり反対したりする。
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>Project 3</li> </ul>	市民の意見を読んで、どのテーマで「わかばフェスティバル」をおこなうとよいか、グループで話し合う。
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>Reading for Fun 2</li> </ul>	物語を楽しむ。

※進度によって予定が前後する可能性があります。